

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 おむすび		
○保護者評価実施期間	R7年 12月 1日		～ R8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	R7年 12月 1日		～ R8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりに寄り添った支援しています。 発達段階や特性に合わせた支援を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画を作成し、特性に応じて安心して過ごせる環境づくりを大切にしています。 アセスメントをスタッフ間で共有し日々のミーティングで話し合っています。 	利用者一人ひとりの特性や発達段階に応じた支援をさらに充実させるため、職員研修や情報共有を行いながら支援の向上に努めています。
2	<ul style="list-style-type: none"> 多様な活動を通じた成長を支援しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ダンス・音楽・制作活動など楽しみながら社会性やコミュニケーションを育む活動を行っています。 	さらに充実を図るため、利用者一人ひとりの特性や課題に応じた支援内容の見直しを行い、スタッフ間で情報共有を行いながら支援の質の向上に努めています。
3	<ul style="list-style-type: none"> 地域のイベントに参加したり、おむすび祭りで交流の機会を設けています。 	<ul style="list-style-type: none"> 日々、地域の清掃活動に参加したり地域の中で子供たちが安心して過ごせる環境づくりを進めています。 	地域との連携を深めながら、子どもたちが社会との関わりを学べる体験活動の機会を増やしています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者の増加に伴い、より個性を高めた支援の充実や活動内容のさらなる工夫が必要であると考えています。	利用者の増加に伴い、一人ひとりの特性やニーズに応じた個別性の高い支援をより充実させる必要があると考えています。また、活動内容についても多様化するニーズに対応できるよう、内容の工夫や支援方法の見直しを課題の要因としています。	利用者の増加に伴い、個々の特性やニーズに応じた支援を充実させるため、職員間での情報共有や個別支援計画の見直しを行っていきます。また、活動内容の工夫やプログラムの充実を図り、より多くの利用者が参加できる支援を進めていきます。
2	地域交流や体験活動を積極的に行っていますが、より多くの利用者が参加できるよう活動内容の充実や支援体制の強化が課題と考えています。	地域交流や体験活動を積極的に行っていますが、利用者の増加や特性の多様化に伴い、より多くの利用者が参加できるよう活動内容の充実や支援体制の強化が必要であることが課題の要因と考えています。	地域交流や体験活動を積極的に行っていますが、利用者の特性やニーズの多様化により、より多くの利用者が参加できるよう活動内容の充実や支援体制の強化が必要であることが課題の要因と考えています。
3	利用者一人ひとりの特性に応じた支援をさらに充実させるため、職員間の情報共有や支援方法の検討を継続していく必要があると考えています。	利用者一人ひとりの特性に応じた支援を充実させるため、職員間の情報共有や支援方法の検討を継続していく必要があります。利用者の多様なニーズに対応するため、職員間の連携強化が課題の要因と考えています。	利用者一人ひとりの特性に応じた支援をさらに充実させるため、職員間での情報共有を密に行い、支援方法の検討や見直しを継続していく必要があると考えています。また、定期的なケース会議や振り返りを通して支援の質の向上を図り、より適切な支援につなげていくことが必要と考えています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				回収数	
児童発達支援 おむすび		R8年 3月 31日				6人	5
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	4	1	0	0	室内も広く公園もあり、十分な活動スペースがあると思う	活動内容に応じたスペースの確保と、安全な環境づくりに努めていきます
	2	5	0	0	0	適切だと思う	適切な職員配置を行い、安全で安心できる支援に努めていきます。
	3	5	0	0	0	安全性などしっかりしていると思う	子どもにわかりやすい環境づくりを行い、障害特性に応じた設備や配慮の充実に努めていきます。
	4	5	0	0	0	色々そろっているのいいと思う	子どもたちが心地よく過ごせるよう、清潔な環境と活動に合った空間づくりに努めていきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5	3	1	0	1	理解して支援してくれていると思う	子どもの特性や状況を理解し、専門性を高めながら適切な支援に努めていきます。
	6	5	0	0	0		公表している支援プログラムに沿って、適切な支援の提供に努めていきます。
	7	4	0	0	1		子どもと保護者のニーズを踏まえ、個別支援計画の充実に努めていきます。
	8	4	0	0	1		ガイドラインに基づき、子どもに必要な支援内容を適切に設定していきます。
	9	5	0	0	0		保護者の皆様からのご意見を職員間で共有し、児童発達支援計画に基づいた支援が適切に行われるよう、定期的に支援内容の確認と見直しを行ってまいります。
	10	3	1	0	1		活動内容が固定化しないよう、子ども一人ひとりの興味や発達段階に応じた多様な活動を取り入れ、引き続き工夫を行ってまいります。
	11	0	2	0	3		地域との交流や様々な体験活動を通して、地域の子どもたちとの関わりが持てる機会を今後も大切にしていきたいです。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	3	1	1	0		利用開始時の説明について、保護者の皆様に分かりやすく丁寧な説明を行うよう、今後も職員間で共有し対応してまいります。
	13	2	0	2	1		児童発達支援計画をもとに支援内容の説明を行い、保護者と共通理解を深めながら支援を進めていきます。
	14	0	2	0	3		保護者向けの情報提供や相談の機会を大切にし、家庭と連携した支援が行えるよう努めてまいります。
	15	4	1	0	0		日頃から連絡帳や送迎時の会話などを通して情報共有を行い、子どもの健康や発達について共通理解が深まるよう努めてまいります。
	16	1	2	0	2		定期的な面談や相談の機会を設け、子育てに関する助言や支援を今後も継続して行っていきます。
	17	4	0	0	1		子どもや保護者の気持ちに寄り添い、共感的な支援が行えるよう職員研修等を通して支援の質の向上に努めます。
	18	3	1	0	1		保護者同士の交流やきょうだい児への配慮についても、交流の機会づくりや情報提供を行いながら支援してまいります。
19	3	2	0			相談や要望については迅速に対応できる体制を整え、安心して相談できる環境づくりに努めてまいります。	

	20	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5	0	0	0		子どもや保護者との意思疎通を大切に、分かりやすい説明と丁寧な情報共有を行っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5	0	0	0		通信やSNS等を通して活動内容や行事予定などの情報発信を行い、今後も分かりやすい情報提供に努めます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4	1	0	0		個人情報の取り扱いについては十分配慮し、適切な管理を徹底してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	0	0	1		各種マニュアルの整備と職員への周知を行い、安全管理や感染症対策の徹底に努めてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2	1	0	2		災害時に備えた避難訓練等を定期的に行い、子どもたちの安全確保に努めてまいります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2	1	0	2		安全管理体制を整え、安心して通所できる環境づくりを継続して行ってまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3	1	0	1		事故等が発生した場合には速やかに保護者へ連絡し、状況説明と再発防止に努めてまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	5	0	0	0	職員に親しみを持っている	子どもたちが安心して通所できるよう、温かい雰囲気づくりと信頼関係の構築を大切にしています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	5	0	0	0	とても楽しみにしている	子どもたちが楽しみながら通所できるよう、多様な活動や体験の機会を大切にしています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	5	0	0	0	柔軟に対応してもらっていると思う	今後も保護者の皆様のご意見を大切にしながら、より良い支援の提供に努めてまいります。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援 おむすび		公表日		R7年 3月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	・バリアフリーにしたり、スロープをつけています	活動スペースを十分確保し、子どもたちが安全に過ごせる環境づくりに努めています。また、活動内容に応じてスペースを工夫しながら活用しています。	
	2	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0		現在は利用定員に対して適切なスペースを確保していますが、今後も子どもたちが安全で快適に過ごせる環境づくりを継続していきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	・子どもの特性に応じて、落ち着いて過ごせるスペースや個別活動ができる環境を整えています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	・日々の清掃や整理整頓を行い、安心して過ごせる環境づくりを行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	・活動スペースを十分確保し、安全に配慮した環境づくりを行っています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1		職員全体がより積極的に業務改善に参画できるよう、会議や情報共有の機会を増やしていきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	・保護者アンケートや職員の意見を共有し、支援の質の向上に努めています。	保護者アンケートの結果を分析し、支援内容の改善により活かしていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・職員会議や日々のミーティングを通して、業務改善や支援の振り返りを行っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	・自己評価や保護者アンケートの結果を共有し、業務改善に取り組んでいます。	外部評価の活用について、今後検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・外部研修や内部研修を通して、職員の専門性向上に努めています。	職員の資質向上のため、外部研修や法人内研修を実施していますが、今後も継続して研修の機会を確保し、支援の質の向上に努めていきます。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	・ホームページにて公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	・児童発達支援計画は、アセスメントを行い子どもや保護者の意向を踏まえて作成しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・児童発達支援計画は、アセスメントを行い子どもや保護者の意向を踏まえて作成しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0		日々の観察や記録をもとに状況を把握していますが、今後はアセスメント方法の充実を図っていきます。	
	16	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	・個別支援計画書に支援内容を記載しています。	ガイドラインに基づいた支援計画を作成していますが、今後も支援内容の充実に取り組んでいます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・職員で話し合いながら活動内容を考え、子どもの発達に合わせた支援を行っています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	2	・職員で話し合いながら活動内容を考え、子どもの発達に合わせた支援を行っています。	活動内容が固定化しないよう、今後も新しい活動を取り入れていきます。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせながら児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	・個別活動と集団活動を組み合わせながら支援しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	・支援前に職員間で役割分担や支援内容を確認し、連携して支援を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	・職員間で共有しています。	支援終了後の振り返りをより充実させ、情報共有の体制を強化していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	・日々の記録を行い、支援内容の振り返りや改善につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	必要に応じて行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	必ず参加し共有しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	・関係機関や相談支援事業所と連携しながら支援を行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2	情報共有と相互理解に向けて支援しています。	関係機関との連携をさらに深め、移行支援の充実を図っていきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2	情報共有しています。	学校との情報共有をより充実させ、円滑な移行支援につなげていきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	0	・地域の児童発達支援センターや関係機関と連携を図り、必要に応じて助言や情報共有を行いながら支援の質の向上に努めています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	5	・おむすび祭りや地域のイベントに参加しています。	地域の子どもとの交流機会について、今後検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・送迎時や連絡ツールを通して、日頃から保護者との情報共有を行っています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	・保護者からの相談に応じながら、家庭と連携した支援を行っています。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・契約時に行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	LINEや送迎時に家族様の意向を確認しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	・必ずサインを頂いています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	2	適宜対応しています。	保護者との面談や相談の機会を増やし、支援の充実を図っていきます。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	・今後検討していきたいです。	保護者様同士での交流の機会がないので、今後検討をしていきます。
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	その日のうちに対応しています。	相談や申し入れに迅速に対応できる体制を整えていますが、今後も保護者が安心して相談できる環境づくりに努めていきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・おむすび通信を毎月発行している。	通信やSNS等で情報発信を行っていますが、今後もわかりやすい情報提供に努めていきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・十分留意し取り扱っています。	個人情報の管理については十分配慮していますが、今後も適切な管理を徹底していきます。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	LINEなどを使って保護者の方とやりとりをしています。	子どもや保護者との意思疎通を大切にしながら、今後もわかりやすい情報伝達に努めていきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0		地域との交流を大切にしながら、今後も地域に開かれた事業運営を進めていきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	年2回訓練を実施しています。	各種マニュアルを整備していますが、今後も定期的な見直しと訓練の実施を継続していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	年2回訓練を実施しています。	BCPに基づいた訓練を実施していますが、今後も災害時に備えた体制の充実を図っていきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	・服薬や健康状態について事前に確認しています。	子どもの健康状態の把握を行っていますが、今後も安全管理の徹底に努めていきます。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	・服薬や健康状態について事前に確認しています。	アレルギー対応については医師の指示書をもとに対応していますが、今後も安全な対応を継続していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	・安全計画に基づき、安全管理を徹底しています。	安全計画に基づき支援を行っていますが、今後も研修や訓練を通して安全管理の向上に努めていきます。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	・その都度対応しています。	安全計画の内容について家族との共有を行いながら、今後も連携を深めていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	・再発防止に向けて事業所内で共有しています。	ヒヤリハットの共有を行っていますが、今後も再発防止に向けた取り組みを継続していきます。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	研修動画を活用し、スタッフみんなが研修を行っています。	虐待防止研修を実施していますが、今後も継続して職員の意識向上に努めていきます。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	身体拘束はしません。	身体拘束は行わない支援を基本としていますが、今後も子どもの権利を尊重した支援を行っていきます。	